

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
大磯西部地区

平成26年2月

神奈川県大磯町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	万台こゆるぎの森利用者数	人/年	3,000	6,000	22,525	確定 見込み	○ ○	○ ○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	民間事業者等による総合学習、体験学習、公開講座やイベント等により、多く方に利用されている。	
指標2	大磯西部地区の人口減少率	%	-0.5	0	2.2	確定 見込み	○ ○	○ ○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路や下水道、防災施設など都市基盤整備によって住環境の向上が図られたことにより、定住に繋がっている。	
指標3	生活環境に対する満足度	%	20.4	25.0	20.5	確定 見込み	○ ○	△ △	あり なし	●	23.2	H25年6月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値は達成していないが、都市基盤整備が進んだことにより生活環境が改善され、事後評価時点より満足度はあがっている。
指標4						確定 見込み			あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
指標5						確定 見込み			あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1						確定 見込み					H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 見込み					H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み					H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	地域資源を活かしたまちづくり	地域資源の有効活用、地域資源の連携強化、新たな地域資源の創出による観光施策を展開するため、関係団体で構成される新たな組織を設置した。	計画的な観光事業の推進を図るため、「新たな観光の核づくり基本計画」を策定した。	基本計画に基づき、地域資源の調査を実施し、各種団体及び民間と連携した事業の展開が必要。
	良好な住環境の創出	花いっぱい運動推進事業やシンボルツリー・いけがき設置への助成事業を行ったほか、景観応援団と連携して景観カルテの作成を行った。また、緑化の推進及び緑の保全に関する条例を制定した。	良好な景観により住環境の向上が図られた。	景観カルテの活用や制定した新条例の運用により、引き続き良好な景観の維持向上が必要。
	災害時における住民等の安全・安心の確保	関係団体との防災ミーティングや防災訓練を実施したほか、自主防災組織の運営の支援を行った。	住民の防災に対する意識の向上及び共助体制の強化が図られた。	・更なる防災意識の向上及び共助体制の強化が必要。 ・自主防災組織未整備地区への設立の支援が必要。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	改善が必要な道路の整備	道路の拡幅や歩道設置など必要な整備を行った。	都市基盤の整備により、住環境の向上が図られた。	道路の維持管理及び引き続き改善を要する道路の整備が必要。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画(精算報告)

おおいそせいぶちく  
大磯西部地区

かながわけん おおいそまち  
神奈川県 大磯町

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	おおいそまち 大磯町	地区名	おおいそせいぶらく 大磯西部地区	面積	755 ha
計画期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度
交付期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度

### 目標

- 国府の魅力を継承・創出し、誰もが住みたい・住み続けたいまち
- ①地域の資源や特性を生かし、魅力に富む交流空間の形成
  - ②子どもから高齢者までが安全・安心・快適に暮らせる住環境の向上

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

本地区は、南は相模湾、北は鷹取山(219m)などの大磯丘陵を望み、東は県立大磯城山公園に接する水と緑に囲まれた地区である。また、平安時代末期には相模の国府が置かれ、以来、千余年の歴史をもつ国府祭(このまち)が毎年5月5日に行われるなど、多くの文化財なども有し、自然とともに伝統文化が息づいている地区でもある。

本地区は、昭和45年に市街化区域と市街化調整区域の線引きがなされ、市街化区域では住宅地開発が進み人口が増加してきた。しかし、人口増に伴う道路や公共下水道などの都市基盤施設の整備が遅れ、また町民等が憩えるような地域資源を生かした交流空間などが不足している。

市街化調整区域では、都市近郊の立地を生かし、果樹栽培、施設野菜や畜産などの農業が営まれ、また観光農園や市民農園などを利用して都市住民との交流による観光型農業の展開を図っているが、農業従事者の高齢化や後継者が不足している。山林は、林業が営まれておらず、薪炭林としての役割が失われたことから山林の荒廃が進んでいる。

また、当町は東海地震の地震防災対策強化地域に指定されており、町民等の生命、身体及び財産を災害から保護するため、地域防災計画に基づき着実に地震対策を進めている。

第四次総合計画に「次代を担うひとづくりプロジェクト」を重点プロジェクトに位置づけるとともに、まちづくり基本計画では自然環境や里山の保全・活用、安全で快適な住環境づくりを方針に掲げ、まちづくりに取り組もうとしている。

#### 課題

- ・身近な自然や歴史・文化等の環境の豊かさ、多様な農業やレクリエーション施設などの地域資源を住民の住環境の向上や地域の活性化に活用する必要がある。
- ・自然とのふれあいの機会の増加や自然の仕組みを学習する場の整備などにより、良好な自然を継承し、保全・活用していく仕組みづくりが必要である。
- ・道路や下水道、防災施設など都市基盤整備や良好な景観形成による住環境の向上を図ることが必要である。

#### 将来ビジョン(中長期)

- 大磯町第四次総合計画(平成18年度～平成32年度)  
「紺碧の海に緑の映える住みよい大磯」を将来像に、「自然とくらしとの共生」と「手づくりと創造」により、美しい自然と由緒ある歴史、文化に恵まれた大磯を愛し、誇りを持つことにより、さらに住みよいまちづくりをめざしている。
- 大磯町まちづくり基本計画(平成18年度～平成32年度)  
国府南地域の地域づくりの目標は「自然に学び自然を伝える」、国府北地域の地域づくりの目標は「豊かな自然の中で生活文化を伝承し、農と緑を交流で生かすまち」とされている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
万台こゆるぎの森利用者数	人/年	万台こゆるぎの森を利用する人数	当該施設の整備と周辺施設や資源等とのアクセス性の向上を図ることで、交流人口の増加を図る。	3,000	平成17年度	6,000 平成23年度
大磯西部地区の人口減少率	%	地区内の人口の5か年間の減少率	快適な住環境を創出することで、平均0.5%の人口減少率を改善し人口の現状維持を図る。	-0.5	平成17年度	0 平成23年度
生活環境に対する満足度	%	地区内の居住者アンケートにおける生活環境に対する満足度	災害に対する安全性や住環境整備による町民の満足度を指標とし、安全性の向上等により5ポイント程度の改善を目指す。	20.4	平成15年	25 平成23年

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1（住民や来訪者が親しむ交流拠点の形成）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万台こゆるぎの森の持つ資源である、自然環境を保全し活用し、子どもを中心とし各世代が憩い、遊び、学び、交流の場となる拠点整備を町民との協働により進める。</li> <li>・文化レクリエーションゾーン施設のアクセシビリティや利便性の向上を図るため、施設間をつなぐ道路を整備する。</li> <li>・文化財や自然環境などの地域資源を地域住民や来訪者が散歩やハイキングなどで親しめ、地域への関心を高めるられるよう、情報板や道路を整備する。</li> <li>・地域交流や地域活動の促進を図るため、集会施設や地域コミュニティ施設等を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹事業：道路(町道国府本郷西小磯1号線)</li> <li>・基幹事業：地域生活基盤施設(文化財情報板)</li> <li>・基幹事業：地域生活基盤施設(観光案内サイン)</li> <li>・関連事業：地域生活基盤施設(万台こゆるぎの森)</li> <li>・関連事業：(地域会館建設事業)</li> <li>・関連事業：(景観計画策定事業)</li> </ul>
<p><b>整備方針2（安全で快適に暮らせる都市基盤の整備）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や病院、商業施設が立地する交通拠点の安全性を高めるため、歩道の確保やバリアフリー化などの整備をする。</li> <li>・住民が快適に暮らせるよう生活の基盤となる生活道路や下水道を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹事業：道路(町道幹線28号線)</li> <li>・基幹事業：道路(町道月京4号線)</li> <li>・基幹事業：道路(町道幹線22号線)</li> <li>・基幹事業：道路(町道幹線23号線)</li> <li>・基幹事業：道路(町道幹線27号線)</li> <li>・基幹事業：道路(町道国府本郷28号線、54号線、国府新宿32号線、生沢寺坂1号線、寺坂4号線、西久保1号線)</li> <li>・基幹事業：道路(町道生沢月京1号線)</li> <li>・基幹事業：道路(町道国府本郷月京1号線)</li> <li>・基幹事業：道路(町道月京生沢2号線)</li> <li>・基幹事業：道路(町道月京8号線)</li> <li>・関連事業：(公共下水道整備事業)</li> </ul>
<p><b>整備方針3（安心して暮らせる住環境の向上）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における住民等の安全性を確保するため、大磯町地域防災計画に位置付けている防災行政無線や避難施設などを整備する。</li> <li>・子どもが安全で安心して活動できる環境と親が安心して働ける環境を確保するため、学童保育施設や幼稚園を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹事業：地域生活基盤施設(防災行政無線)</li> <li>・提案事業：地域創造支援事業(国府学童保育施設整備事業)</li> <li>・提案事業：地域創造支援事業(月京幼稚園整備事業(用地分))</li> <li>・関連事業：(町営住宅建替事業)</li> <li>・関連事業：(大下田橋耐震対策事業)</li> <li>・関連事業：(国府中学校校舎耐震改修事業)</li> <li>・関連事業：(月京幼稚園整備事業(施設分))</li> <li>・関連事業：(小規模河川改修事業)</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <p>○事業中、事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <p>万台こゆるぎの森は、町民との協働による視点に立って進めていく方針であることから、整備計画の策定段階から協働のまちづくりの視点に立ってワークショップなどの手法を取り入れ進めていく。また、施設整備後においても住民等の積極的な参加と連携し事業運営を進めていく。</p> <p>また、町内には緑地や道路わきの花壇等の維持管理や防災、防犯活動などといった身近な生活環境における住民主体による活動や、自然環境や景観、歴史・文化といった地域資源の魅力ガイドするボランティアの活動などまちづくり活動が行われている。今後もこのような活動を継続して支援し、地域のまちづくり活動と連携し地域主体のまちづくりを進めていく。</p> <p>○交付期間中の計画管理</p> <p>計画期間中の本整備計画の管理は、庁内横断的な組織による事業間の調整を図るとともに、情勢変化や住民ニーズに対応した事業の改善、見直しを行い、随時、事業実施の成果を住民に公表する。</p>	

